

きゅういかり けしゅうたくたかくら
旧岩切家住宅高倉

所在地：大島郡龍郷町瀬留字浜田原 968-1

構造規模：寄棟造，茅葺

年代：大正前期 / 平成元年頃・平成 20 年移築

龍郷町中央公民館敷地内に 3 棟の高倉が東西に並ぶ。西端に位置する高倉。東西棟で桁行 2.5 m 梁間 2.5 m に円柱を建て、腰貫こしぬきで固め、上部に目貫めぬきや九ここのつ木ぎと称する材を架す。九つ木は両端を反り上げる。高倉の典型的な構造をよく残している。

登録有形文化財 46-0083 平 21.8.7 登録
登録基準：造形の規範となっているもの



きゅうたいし けしゅうたくたかくら
旧大司家住宅高倉

所在地：大島郡龍郷町瀬留字浜田原 968-1

構造規模：寄棟造，茅葺

竣工：大正前期 / 昭和 59 年頃・平成 20 年移築

3 棟建つ高倉の中央に位置する。東西棟で桁行 2.4 m 梁間 2.4 m に円柱を建てる。旧岩切家住宅高倉とほぼ同じ形式になる典型的な高倉。上部において穀類ほか湿気を嫌う食料を保存し、倉下においては精米などの農作業が行われた。

登録有形文化財 46-0084 平 21.8.7 登録
登録基準：造形の規範となっているもの



きゅうありむらししょうじたかくら
旧有村商事高倉

所在地：大島郡龍郷町瀬留字浜田原 968-1

構造規模：寄棟造，茅葺

年代：昭和前期 / 昭和 42・59，平成 20 年移築

3 棟建つ高倉の東端に位置する。東西棟で桁行 2.2 m 梁間 2.2 m に円柱を建てる。3 棟のなかでは規模が小さいが、構造は同じである。吹放ちふきはなに建つ 4 本の円柱が、軒先の深い、大きな茅屋根を支える外観は力強く、印象的である。

登録有形文化財 46-0085 平 21.8.7 登録
登録基準：造形の規範となっているもの



つ ま じん じゃ ほん でん
都萬神社本殿

所在地：曾於郡大崎町假宿字西迫 1589

構造規模：木造平屋建，瓦葺，面積 53 m²

竣工：大正 5 年

小高い丘陵地に占める境内地の北寄りに南面して建つ。桁行正面三間背面四間，梁間三間，入母屋造，向拝一間，棧瓦葺ひらみつどの社殿。組物は、平三斗えようひじき上に絵様肘木を置きまきと巻斗 5 個を並べ前方へ三段きばなに木鼻を出す特殊な形。中なかぞねえ備かえるまたの墓股には十二支のレリーフを飾る。

登録有形文化財 46-0086 平 21.11.2 登録
登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの

